

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第87期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)
【会社名】	昭和化学工業株式会社
【英訳名】	Showa Chemical Industry Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 石橋 健藏
【本店の所在の場所】	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号(目黒山手通ビル)
【電話番号】	03(3494)0491番
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 堀内 稔
【最寄りの連絡場所】	東京都目黒区下目黒2丁目23番18号(目黒山手通ビル)
【電話番号】	03(3494)0491番
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 堀内 稔
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 昭和化学工業株式会社大阪支店 (大阪市北区堂山町1番5号(三共梅田ビル))

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第86期 第3四半期連結 累計期間	第87期 第3四半期連結 累計期間	第86期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高(千円)	5,553,185	5,870,108	7,214,449
経常利益(千円)	168,135	169,669	217,680
四半期(当期)純利益(千円)	69,144	56,614	88,198
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	80,037	262,534	269,626
純資産額(千円)	2,613,560	3,013,425	2,801,829
総資産額(千円)	10,132,230	10,947,402	10,107,521
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	6.67	5.46	8.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	25.9	27.5	27.8

回次	第86期 第3四半期連結 会計期間	第87期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.20	0.46

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社ならびに連結子会社及び持分法適用会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済・金融政策の効果などにより、緩やかな回復が続いているものの、輸入燃料価格の高止まりや、海外経済の不確実性を背景とする景気下振れリスクなどにより、予断を許さない状況が続いております。

当業界におきましては、燃料価格高騰による製造原価上昇などにより、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような中、当社グループは、売上目標達成のため積極的な拡販活動を展開すると同時に、全社規模でのコストダウンに尽力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高58億70百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益1億69百万円（同0.9%増）、四半期純利益56百万円（同18.1%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントのため、製品別の業績を記載すると次のとおりであります。

#### 濾過助剤

当期間におきましては、甘味料向け製品の売上が増加しましたが、化学工業向け製品の売上が減少しました。この結果、売上高は32億69百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

#### 建材・充填剤

当期間におきましては、住宅用建材及び土木工事事業向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は11億3百万円（同14.8%増）となりました。

#### 化成品

当期間におきましては、プール用塩素剤の売上が微増となりました。この結果、売上高は11億4百万円（同2.3%増）となりました。

#### その他の製品

当期間におきましては、塩素自動供給機その他、スポットで発生する機器などの納入が売上に貢献しました。この結果、売上高は3億91百万円（同11.5%増）となりました。

#### （2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### （3）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は、総額75百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動があったものは次のとおりであります。なお、下記金額に消費税等は含んでおりません。

投資予定金額、着工及び完了予定が変更（下線部分）となった案件  
 提出会社  
 変更前

事業所 (所在地)	平成25年3月末投資予定金額		設備の主な内容	着工及び完了予定		完成後の 生産能力
	総額 (千円)	既支払額 (千円)		着工	完了	
鶴岡事業所 (山形県鶴岡市)	<u>13,000</u>	-	製品倉庫設備	<u>平成25年10月</u>	<u>平成25年10月</u>	-

変更後

事業所 (所在地)	平成25年12月末投資予定金額		設備の主な内容	着工及び完了予定		完成後の 生産能力
	総額 (千円)	既支払額 (千円)		着工	完了	
鶴岡事業所 (山形県鶴岡市)	<u>35,000</u>	<u>7,000</u>	製品倉庫設備	<u>平成26年3月</u>	<u>平成26年8月</u>	-

着工及び完了予定が変更（下線部分）となった案件

子会社

変更前

会社名	事業所 (所在地)	平成25年3月末投資予定金額		設備の主な内容	着工及び完了予定		完成後の 生産能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)		着工	完了	
白山工業(株)	大分工場 (大分県玖珠郡)	10,000	-	産業用 ロボット設備	<u>平成25年9月</u>	<u>平成25年9月</u>	-

変更後

会社名	事業所 (所在地)	平成25年12月末投資予定金額		設備の主な内容	着工及び完了予定		完成後の 生産能力
		総額 (千円)	既支払額 (千円)		着工	完了	
白山工業(株)	大分工場 (大分県玖珠郡)	10,000	-	産業用 ロボット設備	<u>平成25年11月</u>	<u>平成26年1月</u>	-

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,979,000	11,979,000	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	11,979,000	11,979,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	11,979,000	-	598,950	-	527,529

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,860,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,065,000	10,065	-
単元未満株式	普通株式 54,000	-	-
発行済株式総数	11,979,000	-	-
総株主の議決権	-	10,065	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式854株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
昭和化学工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	982,000	-	982,000	8.2
白山工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	486,000	-	486,000	4.1
東興パーライト工業株式会社	東京都目黒区下目黒 2丁目23番18号	392,000	-	392,000	3.3
計	-	1,860,000	-	1,860,000	15.5

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,692,063	1,801,644
受取手形及び売掛金	<sup>3</sup> 2,288,898	<sup>3</sup> 2,512,149
商品及び製品	277,697	299,497
仕掛品	384,754	399,388
原材料及び貯蔵品	132,683	142,985
繰延税金資産	25,813	13,402
その他	39,021	90,486
貸倒引当金	1,358	2,290
流動資産合計	4,839,572	5,257,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	932,682	986,923
機械装置及び運搬具(純額)	395,596	649,326
土地及び原料用地(純額)	838,100	824,968
その他(純額)	810,099	663,363
有形固定資産合計	2,976,479	3,124,580
無形固定資産		
のれん	<sup>2</sup> 5,657	<sup>2</sup> 3,174
その他	43,570	30,387
無形固定資産合計	49,227	33,561
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,290	1,911,435
長期貸付金	78,750	77,010
繰延税金資産	163,808	119,933
その他	468,993	533,525
貸倒引当金	109,602	109,909
投資その他の資産合計	2,242,240	2,531,995
固定資産合計	5,267,948	5,690,138
資産合計	10,107,521	10,947,402



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>3</sup> 781,409	<sup>3</sup> 944,344
短期借入金	2,490,307	2,729,635
1年内償還予定の社債	460,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	443,438	442,672
未払法人税等	41,026	46,610
賞与引当金	42,728	16,093
設備関係支払手形	<sup>3</sup> 42,310	<sup>3</sup> 169,780
その他	259,036	269,068
流動負債合計	4,560,257	4,978,204
固定負債		
社債	670,000	780,000
長期借入金	685,046	810,218
退職給付引当金	771,680	789,978
役員退職慰労引当金	394,219	393,153
繰延税金負債	32,401	57,620
その他	192,087	124,802
固定負債合計	2,745,434	2,955,772
負債合計	7,305,691	7,933,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	621,930	621,930
利益剰余金	1,859,067	1,865,087
自己株式	504,699	505,044
株主資本合計	2,575,248	2,580,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	230,470	390,350
土地再評価差額金	12,129	12,129
為替換算調整勘定	18,531	53,430
その他の包括利益累計額合計	236,873	431,651
少数株主持分	10,291	849
純資産合計	2,801,829	3,013,425
負債純資産合計	10,107,521	10,947,402

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,553,185	5,870,108
売上原価	3,794,686	4,074,706
売上総利益	1,758,498	1,795,402
販売費及び一般管理費	1,586,683	1,622,312
営業利益	171,815	173,089
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,435	21,450
持分法による投資利益	15,954	2,658
固定資産賃貸料	32,651	35,131
その他	10,525	14,597
営業外収益合計	76,565	73,837
営業外費用		
支払利息	51,017	50,993
その他	29,228	26,264
営業外費用合計	80,245	77,258
経常利益	168,135	169,669
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,069
固定資産売却益	300	314
受取保険金	25,211	8,426
特別利益合計	25,511	10,810
特別損失		
固定資産売却損	-	676
固定資産除却損	7,105	2,851
災害による損失	4,081	6,905
特別損失合計	11,187	10,433
税金等調整前四半期純利益	182,459	170,046
法人税、住民税及び事業税	81,475	99,578
法人税等調整額	25,310	3,165
法人税等合計	106,785	102,744
少数株主損益調整前四半期純利益	75,674	67,302
少数株主利益	6,529	10,688
四半期純利益	69,144	56,614

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75,674	67,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,556	156,565
為替換算調整勘定	375	1,063
持分法適用会社に対する持分相当額	9,568	39,730
その他の包括利益合計	4,363	195,231
四半期包括利益	80,037	262,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,978	251,392
少数株主に係る四半期包括利益	7,059	11,141

【注記事項】

( 四半期連結貸借対照表関係 )

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形割引高	74,464千円	75,305千円

2 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
のれん	8,560千円	4,626千円
負ののれん	2,903千円	1,451千円
差引	5,657千円	3,174千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	87,816千円	108,509千円
支払手形	26,637千円	23,795千円
設備関係支払手形	11,074千円	36,540千円

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	191,992千円	213,101千円
のれんの償却額	3,934千円	3,934千円
負ののれんの償却額	1,451千円	1,451千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,988	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい移動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	54,983	5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい移動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	6円67銭	5円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	69,144	56,614
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	69,144	56,614
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,360	10,359

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 2月12日

昭和化学工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員 公認会計士 久具 壽男 印  
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 渡邊 考志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。